

慰安婦のドキュメント映画上映と、監督を囲んでの討論

『チョンおばさんのクニ』

2000年/日本語字幕/90分/シグロ

生まれただけで言葉も忘れてしまったクニ(韓国)

家族と孫に囲まれたクニ(中国)

…二つのクニのはざまでゆれる

ひとりの女性の数奇な運命

日本軍の慰安婦として連行され、七十歳を過ぎるまで中国で暮してきたチョンおばさん。もう一度故郷をみたいという宿願がかない、韓国へ渡る彼女を追ったドキュメント。

*本作は、中国の朝鮮族といわれるコリア語を母語とする人々の一端も理解できます。朝鮮族の多くは、戦前に朝鮮半島から旧満州国に移住したまま中国側に残留を余儀なくされた人々とその後裔です。

解説：班忠義(バン・チュンイ)

1958年、中国・遼寧省撫順市出身。

上智大学大学院、東京大学大学院研究生を経て、広島在住。

中国残留婦人問題に取り組み、1992年「曾おばさんの海」(朝日新聞社)を出版、第7回ノンフィクション朝日ジャーナル大賞を受賞。1995年「中国人元“慰安婦”を支援する会」を発足。1998年「雲南の子供たちの教育を支援する会」発足。1999年、ドキュメンタリー映画『チョンおばさんのクニ』(シグロ製作)を初監督。2006年9月「ガイサンシー《蓋山西》とその姉妹たち」(梨の木舎)出版。



進行：土屋昌明(経済学部教授、中国語担当)

2017年2月18日(土)

15:00～ 上映

16:40～ 解説・討論(18:00終了)

専修大学神田校舎 101教室

参加無料・申込不要

問合せ先: 専修大学 CALL 事務室

i_call@acc.senshu-u.ac.jp 044-911-0502